



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東
コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 事業管理本部長 (氏名) 馬場 猛 TEL 048-646-3400
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	89,401	15.6	5,155	97.9	5,667	117.9	3,484	85.7
2026年3月期第1四半期	77,329	△10.9	2,605	△14.8	2,600	△38.1	1,876	△38.7

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 7,332百万円（324.1％） 2026年3月期第1四半期 1,728百万円（△84.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	81.38	—
2026年3月期第1四半期	43.84	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	378,814	244,496	60.1
2026年3月期	372,445	239,443	59.9

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 227,600百万円 2026年3月期 223,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	45.00	—	51.00	96.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	49.00	—	49.00	98.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	359,000	7.7	19,200	22.9	18,900	2.3	13,000	△3.4	303.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	43,931,260株	2026年3月期	43,931,260株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,118,673株	2026年3月期	1,118,673株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	42,812,587株	2026年3月期1Q	42,799,672株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料については、当社IR情報サイト(URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>)を併せてご参照ください。

<決算説明資料の入手方法について>

当社は、2026年8月19日に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で使用する資料については、本日、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(会計上の見積りの変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢の緊張長期化によるエネルギー価格上昇や金融引締めの影響が残るなか、地域・産業間で成長格差が見られたものの、全体としては底堅く推移しました。国内経済は、企業収益の改善や賃上げを背景に個人消費及び設備投資が持ち直し、緩やかな回復が続きました。

自動車業界においては、BEV市場の成長鈍化を受けて一部完成車メーカーで電動化戦略の見直しが進む一方、ハイブリッド車を含む多様なパワートレインへの需要が継続しました。また、SDVの進展に伴うソフトウェア・電子制御分野への投資拡大や、中国完成車メーカーの台頭による競争激化など、事業環境は大きな変革期を迎えております。このような状況のなか、自動車部品メーカーには、電動化対応に加え、品質・コスト競争力の強化やグローバルでの供給体制の最適化が一層求められております。

このような環境において、当第1四半期連結累計期間における業績は、中国セグメントとアジアセグメントで減産があったものの、日本セグメント他で増産に加え、型設備等車種開発売上の増加や為替等の影響もあって、売上高は89,401百万円（前年同期比15.6%増）となりました。営業利益は、インフレによる労務費の高騰等の影響があったものの、増産効果に加え車種開発の利益貢献もあり、5,155百万円（前年同期比97.9%増）となりました。経常利益は、円安による為替差益等により、5,667百万円（前年同期比117.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,484百万円（前年同期比85.7%増）と増益となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	14,451	18,046	3,594	24.9%
営業利益	367	1,636	1,268	345.3%

前期との主な増減要因

売上高 得意先の生産台数の増加に加え、金型等の車種開発売上の増加により、増収となりました。

営業利益 労務費の上昇や稼働費用の増加等があったものの、増産効果に加え、車種開発売上の増加もあり、増益となりました。

②北米

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	29,729	38,652	8,922	30.0%
営業利益	1,327	3,305	1,977	148.9%

前期との主な増減要因

売上高 得意先の生産台数の増加に加え、金型等の車種開発売上の増加により、増収となりました。

営業利益 増産対応のため労務費や諸経費が増加したものの、増産効果に加え、車種開発売上の増加もあり、増益となりました。

③欧州

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	9,466	10,231	765	8.1%
営業利益	710	438	△271	△38.3%

前期との主な増減要因

売上高 試作等の車種開発売上が減少したものの、量産機種構成の変動や為替影響により、増収となりました。

営業利益 労務費の高騰や諸経費の増加もあり、減益となりました。

④アジア

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	9,785	9,134	△651	△6.7%
営業利益	406	56	△349	△86.1%

前期との主な増減要因

売上高 主要な得意先の生産台数の減少に加え、金型・試作等の車種開発売上の減少もあり、減収となりました。

営業利益 減産影響に加え、労務費や諸経費の増加もあり、減益となりました。

⑤中国

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	11,908	10,576	△1,332	△11.2%
営業損失(△)	△525	△505	19	—

前期との主な増減要因

売上高 金型等の車種開発売上の増加があったものの、主要な得意先の生産台数の減少により、減収となりました。

営業損失 車種開発の売上計上に加え、労務費、減価償却費等の諸経費削減により赤字幅は減少したものの、営業損失となりました。

⑥南米

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	4,329	6,118	1,789	41.3%
営業利益	287	238	△48	△16.8%

前期との主な増減要因

売上高 得意先の新機種量産開始に伴う生産台数増加に加え、為替影響もあり、増収となりました。

営業利益 新機種量産開始対応のため労務費や諸経費が一時的に増加し、減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より6,369百万円増加し、378,814百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金、仕掛品並びに建設仮勘定の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より1,316百万円増加し、134,318百万円となりました。これは主に、短期借入金及び買掛金が減少した一方、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）、流動負債のその他及び未払金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より5,053百万円増加し、244,496百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、2026年5月15日発表の予想値から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,131	51,805
受取手形及び売掛金	53,380	49,097
製品	2,131	2,319
仕掛品	38,002	40,343
原材料	4,412	4,373
貯蔵品	2,100	2,227
その他	7,332	8,037
流動資産合計	155,492	158,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	145,455	147,765
減価償却累計額	△61,920	△63,603
建物及び構築物（純額）	83,534	84,162
機械装置及び運搬具	235,355	239,914
減価償却累計額	△181,842	△186,278
機械装置及び運搬具（純額）	53,513	53,636
工具、器具及び備品	164,480	165,712
減価償却累計額	△155,600	△157,608
工具、器具及び備品（純額）	8,880	8,104
土地	16,862	16,948
建設仮勘定	36,721	38,650
有形固定資産合計	199,511	201,502
無形固定資産	1,945	2,300
投資その他の資産		
投資有価証券	11,715	12,377
退職給付に係る資産	2,367	2,400
その他	1,413	2,028
投資その他の資産合計	15,496	16,806
固定資産合計	216,953	220,609
資産合計	372,445	378,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,650	30,172
短期借入金	28,524	20,203
1年内返済予定の長期借入金	13,663	16,215
未払金	9,701	11,350
未払法人税等	1,300	1,296
賞与引当金	1,749	1,652
その他	13,349	18,780
流動負債合計	101,939	99,672
固定負債		
長期借入金	19,353	22,703
退職給付に係る負債	1,592	1,606
役員株式給付引当金	588	610
その他	9,528	9,725
固定負債合計	31,063	34,646
負債合計	133,002	134,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,622	23,622
利益剰余金	140,842	142,113
自己株式	△1,953	△1,953
株主資本合計	167,167	168,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	2,037
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	53,249	55,870
退職給付に係る調整累計額	1,329	1,253
その他の包括利益累計額合計	56,041	59,161
非支配株主持分	16,234	16,895
純資産合計	239,443	244,496
負債純資産合計	372,445	378,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	77,329	89,401
売上原価	70,270	79,032
売上総利益	7,058	10,369
販売費及び一般管理費	4,453	5,213
営業利益	2,605	5,155
営業外収益		
受取利息	221	193
受取配当金	120	127
為替差益	—	222
持分法による投資利益	228	176
その他	135	240
営業外収益合計	705	961
営業外費用		
支払利息	237	432
為替差損	429	—
その他	43	16
営業外費用合計	710	448
経常利益	2,600	5,667
特別利益		
固定資産売却益	20	12
特別利益合計	20	12
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	69	—
早期割増退職金	138	219
特別損失合計	213	220
税金等調整前四半期純利益	2,408	5,460
法人税等	382	1,301
四半期純利益	2,025	4,158
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	674
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,876	3,484

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,025	4,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	575
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△198	2,574
退職給付に係る調整額	△52	△76
持分法適用会社に対する持分相当額	△187	100
その他の包括利益合計	△296	3,173
四半期包括利益	1,728	7,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,537	6,604
非支配株主に係る四半期包括利益	190	727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	12,516	29,596	9,394	9,640	11,852	4,329	77,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,935	133	71	145	56	—	2,341
計	14,451	29,729	9,466	9,785	11,908	4,329	79,671
セグメント利益又は損失(△)	367	1,327	710	406	△525	287	2,573

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,573
セグメント間取引消去等	32
四半期連結損益計算書の営業利益	2,605

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	15,032	38,585	10,121	9,124	10,418	6,118	89,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,013	67	109	9	157	—	3,358
計	18,046	38,652	10,231	9,134	10,576	6,118	92,759
セグメント利益又は損失(△)	1,636	3,305	438	56	△505	238	5,169

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,169
セグメント間取引消去等	△13
四半期連結損益計算書の営業利益	5,155

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	4,807百万円	4,975百万円